

効能・効果の追加及び使用上の注意改訂のお知らせ

経皮鎮痛消炎剤

ケトプロフェンテープ 20mg 「日医工」

ケトプロフェンテープ 40mg 「日医工」

ケトプロフェン含有プaster剤

販売元 日医工株式会社  
富山市総曲輪1丁目6番21  
製造販売元 日医工ファーマ株式会社

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、標記製品につきまして、平成 22 年 2 月 15 日付で効能・効果が追加になりました。それに伴い、下記のとおり、効能・効果及び使用上の注意を変更致しますので、お知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

敬白

記

新旧対照表( ):変更箇所)

	改訂後	現行
効能・効果	<p>○下記疾患の慢性症状（血行障害，筋痙縮，筋拘縮）を伴う場合の鎮痛・消炎 腰痛症（筋・筋膜性腰痛症，変形性脊椎症，椎間板症，腰椎捻挫），変形性関節症，肩関節周囲炎，腱・腱鞘炎，腱周囲炎，上腕骨上顆炎（テニス肘等）</p> <p>○関節リウマチにおける関節局所の鎮痛</p> <p>＜効能・効果に関連する使用上の注意＞</p> <p>(1) <u>腰痛症，変形性関節症，肩関節周囲炎，腱・腱鞘炎，腱周囲炎，上腕骨上顆炎</u>に本剤を使用する場合，局所熱感，腫脹等を伴う急性期には有効性が確認されていないので使用しないこと。</p> <p>(2) 本剤の使用により重篤な接触皮膚炎，光線過敏症が発現することがあり，中には重度の全身性発疹に進展する例が報告されているので，疾病の治療上の必要性を十分に検討の上，治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ使用すること。</p>	<p>下記疾患の慢性症状（血行障害，筋痙縮，筋拘縮）を伴う場合の鎮痛・消炎 腰痛症（筋・筋膜性腰痛症，変形性脊椎症，椎間板症，腰椎捻挫），変形性関節症，肩関節周囲炎，腱・腱鞘炎，腱周囲炎，上腕骨上顆炎（テニス肘等）</p> <p>＜効能・効果に関連する使用上の注意＞</p> <p>(1) 局所熱感，腫脹等を伴う急性期には有効性が確認されていないので使用しないこと。</p> <p>(2) 本剤の使用により重篤な接触皮膚炎，光線過敏症が発現することがあり，中には重度の全身性発疹に進展する例が報告されているので，疾病の治療上の必要性を十分に検討の上，治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ使用すること。</p>

	改訂後	現行
使用上の注意	<p>2. 重要な基本的注意</p> <p>(1)～(2)：現行どおり</p> <p>(3) <u>皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に投与すること。</u></p> <p>(4) <u>腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎の慢性症状（血行障害、筋痙縮、筋拘縮）を伴う場合の鎮痛・消炎に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。</u>  本剤による治療は対症療法であるので、症状に応じて薬物療法以外の療法も考慮すること。また、投与が長期にわたる場合には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に留意すること。</p> <p>(5) <u>関節リウマチにおける関節局所の鎮痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。</u></p> <p>1) <u>関節リウマチに対する本剤による治療は対症療法であるので、抗リウマチ薬等による適切な治療が行われ、なお関節に痛みの残る患者のみに使用すること。</u></p> <p>2) <u>関節痛の状態を観察しながら使用し、長期にわたり漫然と連用しないこと。また、必要最小限の枚数にとどめること。</u></p>	<p>2. 重要な基本的注意</p> <p>(1)～(2)：略</p> <p>(3) 消炎鎮痛剤による治療は原因療法ではなく、対症療法であることに留意すること。</p> <p>(4) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に投与すること。</p> <p>(5) 本剤による治療は対症療法であるので、症状に応じて薬物療法以外の療法も考慮すること。また、投与が長期にわたる場合には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に留意すること。</p>